

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

循環型資源である県産材が社会のあらゆる場面で活用され、林業活動がビジネスとして活発に展開されることにより、森林資源の持続的な活用と育成が進むとともに、県民の皆さんがさまざまな形で森林づくりに参画しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県産材素材生産量		400 千 m ³		405 千 m ³		415 千 m ³
	406 千 m ³					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内で生産される木材の供給量					
3年度目標値の考え方	令和5年度に平成30年度実績（395千m ³ ）から20千m ³ 増加させることを目標値としており、令和3年度は平成30年度実績（395千m ³ ）から10千m ³ 増加させることを目標として設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
公益的機能増進 森林整備面積 （累計）		3,650ha		5,850ha		11,650ha
	1,552ha					
林業人材育成人数 （累計）		125人		190人		320人
	88人					
地域に密着した 森林環境教育・ 木育指導者数		140人		160人		200人
	127人					

現状と課題

- ①水源のかん養や国土の保全、地球温暖化防止など、森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるため、間伐等の森林整備を促進するとともに、市町が主体となった適正な森林の経営管理を円滑に進める必要があります。また、集中豪雨や台風等による豪雨災害が多発するなど、自然災害の発生リスクが高まる中、「災害に強い森林づくり」にしっかりと取り組むとともに、森林づくりに取り組む活動団体を増加させるなど、「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めていく必要があります。
- ②森林資源の循環利用による持続的な林業経営をめざすため、林業の低コスト化等に取り組み、素材生産量の増大を図る必要があります。また、花粉症対策への高いニーズをふまえ、花粉発生源対策を推進していくことが必要です。
- ③林業、木材産業における労働災害発生率（千人当たり）は、約 30 年にわたり全産業の中で最も高いものとなっているほか、生産性についても林業先進国と比較すると低位となっており、ICT 技術等を活用した林業のスマート化を進め、「持続可能なもうかる林業」を実現していく必要があります。
- ④住宅着工戸数が伸び悩む中、公共施設や民間の商業施設等における木材需要の獲得など、新たな販路の拡大に向けた取組を進める必要があります。また、今年度、木材産業事業者や建築関係事業者が連携して木材供給に取り組む体制づくりを進めているところであり、この取組を推進することで、県産材の効率的かつ安定的な供給体制を構築していくことが必要です。
- ⑤林業従事者が減少傾向にある中、森林・林業の振興や地域の活性化につなげるため、新規就業者の確保に取り組むとともに、「みえ森林・林業アカデミー」において、産学官連携のもと、次代を担う林業人材を育成するため、社会状況の変化やニーズに対応した講座を実施していくことが必要です。さらに、森林づくりを社会全体で進めるため、今年度策定する「みえ森林教育ビジョン」に基づき、子どもから大人までの一貫した森林教育を推進していくこととし、森林教育活動の場づくりや森林教育指導者の確保・育成に取り組む必要があります。

令和 3 年度 of 取組方向

- ①間伐等による環境林の整備を促進するとともに、市町による森林の経営管理が円滑に実施できるよう、支援の充実を図ります。また、流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出や、流域防災機能の強化を図るための面的な森林整備、航空レーザ測量による詳細な森林資源情報の把握と活用を推進するほか、大規模な停電を未然に防止する計画伐採を進めるなど、災害に強い森林づくりを市町と連携して進めます。さらに、企業や森林ボランティアの森づくり活動に関する相談対応や情報提供、資器材の貸出等の支援を通じて、森林づくりに取り組む活動団体の増加を図るとともに、みえ森と緑の県民税を活用して、市町による地域の実情に応じた森林づくりを促進します。
- ②素材生産量の増大を図るため、植栽本数の低減等による低コスト造林や、製材・合板工場等への原木の供給力強化に向けた搬出間伐、森林経営計画の作成による森林施業の集約化、路網整備や高性能林業機械等の基盤整備などを促進します。また、花粉発生源対策を推進するため、少花粉スギの種子生産や少花粉苗木への植替えに取り組めます。
- ③林業や木材産業を「持続可能なもうかる林業」へ転換し、若者に魅力ある職場とするため、県内で先進的に林業のスマート化に挑戦しようとする事業者や市町等と連携し、ICT 等先端技術を活用した作業の安全性の向上や省力化、効率化を図るとともに、正確で詳細な資源情報の共有や、それに基づく計画的な生産体制の構築を進めるなど、スマート林業の実装に取り組めます。

- ④県産材の需要を拡大するため、公共建築物や商業施設等中大規模の非住宅建築物等の需要の獲得、内装材等木材の建築用途でのさらなる利用促進など、新たな販路の拡大に向け、引き続き、県・市町の営繕担当者や県内の建築士等を対象とした中大規模木造建築物等の設計に係る研修会を開催します。また、木材産業事業者や建築関係事業者が連携した木材供給の取組を推進し、県産材の効率的かつ安定的な供給体制を構築するとともに、新たな内装材等の商品開発や、工務店等による県産材木製品のプロモーションに係る取組への支援を行います。さらに、首都圏の公共団体等への働きかけを継続するとともに、海外での説明会等の開催や国際見本市でのPR活動のほか、オンライン等のツールを活用した情報発信に取り組みます。
- ⑤新規就業者の確保を図るため、引き続き、首都圏等で開催される就業・就職フェアでのPR等に取り組みるとともに、これまで十分に体系化されていなかった林業の人材育成や森林教育、研究や普及といった機能を一元化し、子どもから大人までの一貫した人材育成を展開する新たな体制を構築します。新たな体制においては、林業人材育成にかかるカリキュラムのブラッシュアップを図るとともに、森林教育の取組を広げていくためのプログラムの作成や主体的・対話的な学びの実践を取り入れた森林教育指導者の育成、森林教育に気軽にアクセスできる場や機会の拡大等に取り組み、森林・林業をはじめとするさまざまな課題に主体的に対応できる人材の育成を進めます。さらに、新たな拠点施設の整備を進めるなど、森林教育に参加する子どもから、林業のプロフェッショナルまで幅広い人材育成を推進していくための施設面での強化にも取り組みます。

主な事業

①新たな森林経営管理体制支援事業

【基本事業名：31301 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(R2) 42,729千円 → (R3) 43,493千円

事業概要：市町が主体となった森林経営管理制度が円滑に進むよう、「みえ森林経営管理支援センター」等を通じた市町への支援を拡充するとともに、市町や林業経営体が行う森林整備等が促進されるよう、林業の担い手の確保や少花粉スギ・ヒノキの種子の生産体制の強化等を行います。

②災害に強い森林づくり推進事業【基本事業名：31301 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(R2) 380,000千円 → (R3) 380,000千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用して、「災害に強い森林づくり」を進めるため、流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出等とともに、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木の撤去等を行います。

③森林情報基盤整備事業【基本事業名：31301 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(R2) 147,243千円 → (R3) 167,944千円

事業概要：災害に強い森林づくりを効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施して森林資源等の詳細な情報を取得し、客観的な評価に基づく整備が必要な森林の把握等を行います。

④森林環境創造事業【基本事業名：31301 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(R2) 19,787千円 → (R3) 24,873千円

事業概要：森林の有する公益的機能が持続的に発揮されるよう、環境林において森林所有者等が市町と協定を締結した森林を公共財と位置づけ、強度間伐等により針葉樹と広葉樹の混交林へ誘導するなど、市町による森林の適正な管理を促進します。

⑤みえ森と緑の県民税市町交付金事業

【基本事業名：31304 みんなで支える森林づくりの推進】

予算額：(R2) 527,750千円 → (R3) 556,511千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用し、市町が創意工夫した森林づくりの施策を展開するとともに、面的な森林整備や植栽地の獣害防止等の流域の防災機能を強化する対策や、ライフライン沿いの危険木を事前伐採する対策に、県と市町が連携して取り組めるよう交付金を交付します。

⑥林業・木材産業構造改革事業【基本事業名：31302 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】

予算額：(R2) 282,635千円 → (R3) 419,350千円

事業概要：林産物等の安定的な供給・利用の確保を図るため、搬出間伐や、森林作業道、高性能林業機械の整備等を支援します。

⑦造林事業【基本事業名：31302 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】

予算額：(R2) 437,628千円 → (R3) 423,384千円

事業概要：森林の有する多面的機能の維持・増進や持続的林業生産活動等を推進するため、植栽、下刈り、間伐、枝打ち等の森林整備や、獣害防護柵、森林作業道の整備等を支援します。

⑧林道事業【基本事業名：31302 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】

予算額：(R2) 415,871千円 → (R3) 508,759千円

事業概要：木材の生産や搬出に必要な林道を開設するとともに、輸送力の向上と通行の安全の確保を図るため、既設林道の改良等を実施します。

⑨（新）LPWAN等を活用したスマート林業推進事業

【基本事業名：31301 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(R2) — 千円 → (R3) 16,872千円

事業概要：携帯電話圏外の山間部等でのデータ通信を可能とするLPWAN等のICT先端技術を活用したスマート技術について実装モデル地区を設定し、林業事業者や製材業者、関係市町等と連携したスマート林業の実装検証に取り組みます。

⑩（一部新）「もっと県産材を使おう」推進事業

【基本事業名：31302 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】

予算額：(R2) 4,346千円 → (R3) 13,082千円

事業概要：木材関係事業者と連携した県産材の情報発信、首都圏等でのPR活動のほか、木造・木質化に向けた相談窓口の設置や県施設の木質化に取り組みます。また、住宅および公共建築物等における県産材の利用拡大を図るため、工務店や木材関係事業者が連携して行う、公共建築物等に活用可能な新製品開発等の取組を支援します。

⑪中国等アジア圏に向けた県産材輸出促進事業

【基本事業名：31302 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】

予算額：(R2) 2,112千円 → (R3) 1,584千円

事業概要：中国等アジア圏への県産材の輸出を促進するため、輸出先企業を対象とした県産材製品の魅力を伝える説明会等の開催や、国際見本市におけるPR活動等のほか、オンラインツールを活用した情報発信に取り組みます。

⑫（一部新）森を育む人づくりサポート体制整備事業

【基本事業名：31304 みんなで支える森林づくりの推進】

予算額：(R2) 95,823千円 → (R3) 86,071千円

事業概要：「みえ森林教育ビジョン」の実現に向け、小学校向けの森林教育プログラムの作成やさまざまな世代を対象とした講座の開催に取り組むほか、「みえ森づくりサポートセンター」の運営を通じた指導者の育成や森林教育のコーディネート、市町等からの相談対応などを行います。

⑬みえ森林・林業アカデミー運営事業【基本事業名：31303 林業・木材産業を担う人材の育成】

予算額：(R2) 46,923千円 → (R3) 47,702千円

事業概要：「みえ森林・林業アカデミー」において、主に既就業者を対象とした基本コースのほか、今後の森林整備の推進に重要な役割を果たす市町職員向けの講座などを実施します。また、高校生等の就業希望者を対象とした林業現場の体験のほか、木造建築士養成講座など、専門的、実践的な知識、技術向上を集中的に行う選択講座の運営を行います。

⑭みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業【基本事業名：31303 林業・木材産業を担う人材の育成】

予算額：(R2) 19,616千円 → (R3) 214,544千円

事業概要：「みえ森林・林業アカデミー」における効率的な講座運営および充実した教育環境を実現するため、拠点施設の整備を進めます。